５. 昭和大学 Ｄ３ チーム医療と口腔医学Ⅰ（チーム医療Ⅰ）
授業の概要と授業計画

昭和大学歯学部3年生に対する授業計画

授業(回)	年月日	時限	学習項目	学習内容	対象SBO	担当
授業1 授業2	平成25年 9月10日 (火)	1 2	全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？	日本の高齢化率、将来人口推計から今後の日本の社会と医療を考える。 高齢者の身体的、心理学的特徴と高頻度に見られる基礎疾患と口腔疾患を学ぶ。 ビデオを通じて、歯科診療と全身状態との関連について考える。	1 2 3 4 5 6	高齢者歯科 口腔衛生
授業3 授業4	平成25年 9月17日 (火)	1 2	脳梗塞を発症した患者から、医療の仕組みを学ぶ	脳梗塞を発症し、入院加療の後に、自宅療養中の患者の歯科受診を通して、医療・歯科医療の仕組みと連携を学ぶ。 チーム医療の基本(構成メンバーと役割)および歯科が担う口腔のケアの目的を学ぶ。	1 2 3 4 5 6	口腔衛生
授業5 授業6	平成25年 9月24日 (火)	1 2	口腔乾燥症と疾患 ①	唾液・唾液分泌機能について、基本的事項を e-learning で学ぶ。 基礎疾患を有する患者のシナリオを用いて Small Group Discussion により唾液分泌に影響を与える因子とそのメカニズムについて学習する 。	7 8 9	口腔病理
授業7 授業8	平成25年 10月1日 (火)	1 2	口腔乾燥症と疾患 ②	グループで課題に対する説明を考え発表する。 発表後、e-learningとリソース講義により唾液・唾液分泌における基本的事項の確認基礎疾患と唾液分泌障害の関連性について理解する。	7 8 9 10	口腔病理
授業9 授業10	平成25年 10月1日 (火)	3 4	口腔診察・検査実習と疾患	唾液分泌能(ガム、サクソンテスト)、口腔乾燥度、細菌数、嚥下機能、および咬合力の測定を学生相互で実施し、結果をカルテに記入する。 異常値が得られた場合、原因や原疾患について e-learning で学ぶ。 これらの検査を活用した D4 実習、D5 病棟実習についてリソース講義で学ぶ。	7 8 9 10	病理 薬理 生理 微生 衛生

D3　チーム医療と口腔医学Ⅰ（チーム医療Ⅰ）　対象学年：3年生　後期

一般目標(GIO)：

国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン(口腔科医)になるために、医療の仕組みと高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状および多職種連携のチーム医療を理解し、口腔症状への対応の基本を身につける。

到達目標(SBOｓ)：

1. 日本の将来人口推計等から今後の日本の医療・歯科医療体系を考える。
2. 高齢者に多く見られる基礎疾患について概説できる。
3. 基礎疾患を有する患者の歯科診療における注意点を概説できる。
4. 脳梗塞の症状と口腔の機能に対する影響を説明できる。
5. 発症から症状の回復までの一連の医療体制を概説できる。
6. 医療・歯科医療の連携と病院におけるチーム医療の基本を説明できる。
7. 唾液の分泌に影響を与える因子について説明できる。
8. 口腔乾燥症の口腔内所見について説明できる。
9. 口腔乾燥症と基礎疾患との関連について説明できる。
10. 口腔内環境・機能検査として、唾液分泌能測定、口腔乾燥度測定、細菌数測定、嚥下機能測定、および咬合力測定を実施し、その結果を評価できる。

◆全学年を通しての関連ユニット

１年　初年次体験実習　歯科医院見学実習

２年　福祉と健康（福祉施設実習）

３年　ヒトの病気Ａ（前期：循環器系，神経筋疾患）
口腔医学 II（10 月）病院病棟における看護業務と全身状態の把握、医療面接の基礎
口腔医学実習 II（9 ～ 12 月）昭和大学付属病院病棟体験実習
4 学部連携チーム医療　（12 月）　学部連携 PBL（テーマ：脳梗塞，パーキンソン病）

４年　全身の医療面接とコミュニケーション（基礎疾患を有する模擬患者との医療面接実習）
チーム医療と口腔医学 II
ヒトの病気Ｂ

５年　全身疾患と口腔医学
全身管理と医療連携の臨床実習
学部連携病棟実習

６年　学部連携地域医療実習
学部連携アドバンスト病院実習